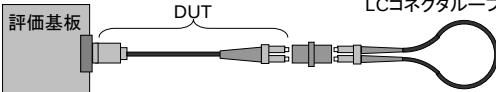


動作条件	保存温度範囲 (開封前)	-10～+60[°C] (40～75[%RH])	保存温度範囲 (実装後非動作時)	-40～+85[°C] (85[%RH]MAX) 氷結、結露なきこと		
	使用温度範囲 (動作時)	-10～+60[°C] (85[%RH]MAX) 氷結、結露なきこと	特性インピーダンス	差動100[Ω]		
	電気入力IF	SLVS-200	Activate電圧	1.0～3.6[V]		
	入力信号電圧	差動200～1400[mVp](typ 200[mVp]) コモン電圧150～340[mV](typ 200[mV])				
	電源電圧	3.0～3.6[V]				
	適合コネクタ	(BF4-IR2) BF4-IR2-16P-0.5SH (LCD) 2心LCアダプタ				
性 能						
構造	項 目	試 験 方 法		規 格	QT	AT
	外観,構造,仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する		図面と合致していること	○	○
電 気 的 性 能	表示	目視にて確認する			○	○
	信号伝送特性	差動入力200[mV]入力で高速信号伝送を行う		0.05Gbps～6.25Gbpsで1Gbit Ethernet規定マスクを時間軸上に相似させたマスクにヒットなきこと	○	-
		下図測定系で 6.25Gbps PRBS7 差動 200[mVp]入力しアイパターンを測定する。 				
	信号検出	EO-ACT=High,VDD=3.3[V]の状態での OE-SDn 端子電圧を測定する。(測定系は信号伝送と同様)		OE-SDn電圧-0.3～1.0[V]	○	○
	ACT検出	VDD=3.3[V]の状態での EO-ACTn 端子電圧を測定する。(測定系は信号伝送と同様)		EO-ACTn電圧-0.3～1.0[V]	○	○
	符号誤り率 (ビットエラーレート)	6.25Gbps PRBS7 差動 200[mVp]入力時の符号誤りを BERT で測定する。		符号誤り率 1X10 ⁻¹² 以下	○	-
	消費電力	VDD=3.3V で信号伝送動作時の電流をマルチメータで測定する。		160 [mW]以下	○	-
	出力信号電圧	6.25Gbps PRBS7 差動 200[mVp]入力し、信号伝送と同じ測定系で測定したときの電圧値を測定する。		差動電圧:160～330mVp	○	○
光 学 的 性 能	挿入損失	BF4-IR2 を結線する前に2心 LC プラグの挿入損失を測定する。		0.5dB以下	○	○
	LED発光(緑)	V=3.0～3.6V の電圧を入力し、LED の発光を確認する		緑色の発光が確認できること	○	○
	LED発光(橙)	V=3.0～3.6V の電圧を入力し、LED の発光を確認する		橙色の発光が確認できること	○	○
△の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
0	0					
備考 構造以外の項目は、適合コネクタに嵌合した状態で試験を行う。 IR2の性能は、評価基板にを用いて測定する。				承認	YY.HIYAMA	20221212
				検 図	TS.YAMAZAKI	20221208
				担 当	SK.AOYAMA	20221206
				製 図	SK.AOYAMA	20221206
注 QT:確認試験 AT:製品検査 O:適用項目			図番	SLC-392033-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	BF4-IR2LCD-01-5M		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0831-1285-0-00		
				△	1/2	

性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
機 械 的 性 能	繰り返し動作	(BF4-IR2) IR2レセプタクルとの挿抜を1000回行う。 (LC) LCアダプタとの挿抜を100回行う	機能に影響する破損なきこと 6.25Gbps PRBS7信号伝送時に1G bit Ethernet規定マスクを時間軸上 に相似させたマスクにヒットなきこと (試験前後に確認)	○	-
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向各 2時間 試験する		○	-
	耐衝撃性	加速度 490m/s ² , 持続時間 11ms, 正弦半波 3軸両方向 各3回試験する		○	-
	ファイバ固定力	ファイバ軸方向に10mm/minの速度で破損するまでファイバを 引っ張る		○	-
環 境 的 性 能	温湿度試験	下記の条件で温湿度変動を加える。 初期測定23℃⇒-20℃(72h)⇒(約1.5h)⇒中間測定(23℃) ⇒+60℃、90%(72h)⇒(約1.2h)⇒試験後測定(23℃)	機能に影響する破損なきこと 6.25Gbps PRBS7信号伝送時に1G bit Ethernet規定マスクを時間軸上 に相似させたマスクにヒットなきこと (初期、中間、試験後に確認)	○	-
	温度サイクル	温度 -40℃⇔85℃、時間 10分 ⇔10 分を 無通電状態で100サイクル試験する		○	-
	耐熱性	温度 85℃ 無通電状態で1000時間放置する		○	-
	耐寒性	温度 -40℃ 無通電状態で1000時間放置する		○	-
	温湿度サイクル	-10～+65℃、24h/1サイクルの温湿度条件で 10サイクル無通電状態で試験を行う (下記条件) 		○	-
	ESD耐性	BF4-IR2 HBMで2K[V]印加する。		○	-
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番		
製品規格表			SLC-392033-00-00		
HS	製品規格表		製品名		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		
			BF4-IR2LCD-01-5M		
			CL0831-1285-0-00		
			△ 2/2		